

2022 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」			
題名・副題	手作りミニ顕微鏡でいろいろな細胞を見てみよう ～生き物を大きくしてみると何が見えるでしょう？～			
月日・時間	2022年6月12日(日) 10:00～12:00			
開催場所	はまぎんこども宇宙科学館 2階・実験室			
部会・講師名	大気・水環境部会 長村吉洋	参加数	15名	講師数 5名
写真・画像				
	水滴の大きさをレンズの拡大効果を確認		段ボール片とビーズ玉でミニ顕微鏡作り	
				
	たまねぎの薄皮でプレパラート作り		手作りミニ顕微鏡で細胞が視えた	
成果解説	<p>この教室は、ミニ顕微鏡を作って、食物や植物の細胞を観察し、生物の多様性について理解を深めることが目的です。</p> <p>始めに、私たちが食べている物の細胞について、スライドなどで詳しく説明し、物を大きくして見る工夫として、レンズの拡大効果をルーペやビー玉、水滴などの実験で確かめました。ミニ顕微鏡工作では、段ボール板に穴をあけ、レンズとしてビーズ玉をはめ込んで顕微鏡を作り、プレパラードは透明なプラスチック板を準備しました。被写体として、玉ねぎの薄皮を剥ぎ取ってプレパラートにセロテープで止め、200～300倍に拡大した細胞を観察することができました。また、じゃがいものデンプンも観察。その他にも、セダム、カランエゴ、ツユクサなどの気孔や花粉の観察も楽しんでもらいました。</p> <p>最後に、食べ物としての植物も地球の環境を守っていることの生物多様性について解説し理解を深めてもらいました。</p>			